

## 「棺」を買ってみました



以前から一度、棺に入ってみたくて昨年年末に「棺桶」を購入しました。「入棺体験」。

若い人が転職する時などに、「生まれ変わって、再チャレンジ!」と、人気があるそうです。しかし、それは年代によって受け止める意味は様々なようです。いつもお世話になっている佛具屋さんにその旨お願いすると、「棺は扱ったことがありません」ということで、今回は製造元から直接届くように手配していただきました。大人用の棺のサイズは長さが 180 cm と 190 cm の 2 種類のものがあります。何故か、幅は 55 cm に統一されています。私が購入したのは 190 cm の方で、白木の一番シンプルなものです。ちなみにお値段は税込 21,600 円でした。

夕方 4 時に棺がお寺に到着するということが佛具屋さんで待ちました。15 分遅れて到着。「お隣のお寺と間違えて届けてしまい遅れました…。私はその瞬間「ええ!」と大声を出していました。頼んでもない、それも「棺」が届いたお隣のご住職はさぞかし驚かれたことでしょう(冷汗)と、思いきや。棺は上写真のように、棺のパーツが段ボール箱に詰められコンパクトな状態で届きました。

さっそく、私が初「入棺体験」をさせていただきました。先ず入って寝た時の感想は「幅せまい」と思いました。後で聞いたのですが、映画『おくりびと』で、亡き人を棺用の敷布団を



数人で持ち上げ布団ごと納棺させているシーンがありましたが、この方法ですとよほど体格が良い方でも 55 cm の幅で大丈夫だそうです。佛具屋さんに記念写真(上写真)をとってもらい、顔の前の扉が静かに閉まり真っ暗になりました。想像をしていたのと違い、木の香りもして、ゆっくりと心が落ち着いて行くのがわかります。次に佛具屋さんが入られ、「生まれ変わって、新年を迎えることができるような、すがすがしい気持ちです。」と、はつらつとしたお顔でした。

2 月 8 日に毎月の行事の後、第 2 回目の入棺体験をいたしました。今回はお釈迦さまご臨終の絵「涅槃図」の前に棺を置き、お釈迦さまと並んで北枕で、ご希望された方 6 名に体験していただきました。後日、そのお一人 50 代、関



市在住 S N さんのブログから…

「顔を見るための小扉の隙間から、薄らとこぼれる灯りを見

ながら眼を閉じます。ほんのりと木の香りがします。何か別世界にいるようで、今まで見送った方々はどんな気持ちだったのだろう?と考えてしまいました。あつと言う間の 3 分間でしたが、一晩この中で寝たら(ただし寝返りはできませんけど…汗)、何かもっと違う世界に行けるのではないかと思っしています」

これから「棺」は、京都市内のお寺へ出張し、春彼岸まで入棺体験を実施します。俊徳丸